

2025年7月25日

各位

不動産投資信託証券発行者名

投資法人みらい

代表者名 執行役員

菅沼通夫

(コード番号:3476)

資産運用会社名

三井物産・イデラパートナーズ株式会社

代表者名 代表取締役社長

菅沼通夫

問合せ先 取締役 CFO 兼業務部長

上田晋寛

TEL: 03-6632-5960

### 変動賃料物件（ホテル）の運用状況についてのお知らせ（2025年6月）

投資法人みらい（以下「本投資法人」といいます。）が保有するホテルのうち、変動賃料物件（注）の2025年6月の運用状況を下記のとおりお知らせします。

本投資法人は、変動賃料物件のうちテナントから開示の同意を得られた物件について、継続的に運用状況の開示を行う方針です。

（注）直近の決算期における賃料収入に対する変動賃料の比率が20%以上の物件をいい、新規取得物件については直近の決算期と同期間における取得前の実績、賃貸借契約の変更（テナント変更を含む）が行われた物件については契約締結時の想定に基づき分類します。

## 記

### 1. 変動賃料物件全体の運用実績（注1）

物件名/項目		2025年6月	前年同月比	2025年10月期 累計/平均	前年同期比
スマイルホテル 5物件	客室稼働率（注2）	88%	123%	88%	128%
	ADR（注3）	8,018円	110%	8,623円	114%
	RevPAR（注4）	7,039円	136%	7,598円	146%
	売上高（注5）	164百万円	134%	359百万円	145%

（注1）記載の数値は監査等の手続きを経ていないため、正確性・完全性を保証できるものではありません。

また、今後提出する有価証券報告書等の資料に記載の数値と一致しない場合があります。以下同じです。

（注2）客室稼働率：対象期間の販売客室数を同期間の販売可能客室数で除した数値をいいます。なお、客室稼働率については、小数点以下第一位を四捨五入して記載しています。

（注3）ADR（Average Daily Rate＝平均客室販売単価）：一定期間の宿泊部門売上高合計を同期間の販売客室数合計で除した値をいいます。なお、ADRについては小数点以下第一位を切り捨てて記載しています。

（注4）RevPAR（Revenue Per Available Room＝販売可能客室当たり宿泊部門売上）：一定期間の宿泊部門売上合計を同期間の販売可能客室数合計で除した値をいいます。なお、RevPARについては小数点以下第一位を切り捨てて記載しています。

（注5）売上高については百万円未満を切り捨てて記載しています。

## 2. 個別物件の運用実績

物件名/項目		2025年6月	前年同月比	2025年10月期 累計/平均	前年同期比
スマイルホテル 大阪天王寺	客室稼働率	88%	144%	90%	159%
	ADR	8,627円	151%	9,028円	144%
	RevPAR	7,570円	217%	8,109円	230%
	売上高	29百万円	215%	63百万円	229%
スマイルホテル 京都烏丸五条	客室稼働率	85%	116%	90%	116%
	ADR	6,920円	108%	8,654円	125%
	RevPAR	5,882円	125%	7,760円	144%
	売上高	20百万円	127%	53百万円	144%
スマイルホテル 那覇シティ リゾート	客室稼働率	85%	147%	82%	163%
	ADR	7,564円	104%	7,477円	103%
	RevPAR	6,396円	152%	6,149円	167%
	売上高	52百万円	144%	102百万円	162%
スマイルホテル 博多駅前	客室稼働率	98%	106%	99%	104%
	ADR	10,667円	108%	11,617円	115%
	RevPAR	10,489円	114%	11,473円	120%
	売上高	38百万円	114%	84百万円	120%
スマイルホテル 名古屋栄	客室稼働率	86%	105%	86%	106%
	ADR	6,504円	102%	7,124円	106%
	RevPAR	5,617円	107%	6,122円	113%
	売上高	24百万円	107%	54百万円	113%

(注) 本投資法人の保有物件には表記載の物件以外に変動賃料を導入している物件が含まれていますが、いずれも変動賃料の比率が20%未満であるため開示の対象としていません。

## 3. 特記事項

日本政府観光局が公表した訪日外客統計によれば、2025年6月の訪日外客数は337万人（推計値）と、前年同月比で7.6%増加しました。6月は例年、夏休みシーズン前となり訪日需要が比較的落ち着く時期であるものの、多くの国でスクールホリデーに合わせた訪日需要の高まりがみられたこと等が押し上げの原因となりました。

このような市場環境を背景に、本投資法人が保有する全5物件においても、6月実績はRevPARをはじめとする全指標が前年同月比で改善し、堅調に推移しました。さらに、5月及び6月の累計実績についても前年同期を上回る水準で進捗しており、ホテルセクターにおける安定した成長を確認できる内容となりました。

以 上

※本投資法人のホームページアドレス：<https://3476.jp>